

木

KINO PRESS
NO.45

野

京都精華大学
KYOTO
SEIKA
UNIVERSITY

通

木野通 第45号 2007年12月3日発行
京都精華大学広報部広報課
〒606-8588
京都市左京区岩倉木野町137
TEL. 075-702-5197

信

クムルス — 積み重ねること

学長◎ 島本 浣 SHIMAMOTO Kan

気象学に関心がある人なら、積雲を意味するクムルスという言葉はなじみのものだろう。名前は知らずとも普通にみかけられる雲である。ラテン語の cumulus (積み重ねの意) からきた言葉である。ちょっと安直だが、ネット辞典ウィキペディアから引用してみる。

「積雲 (せきうん、ラテン語学術名 cumulus、略号 Ci、キウムラス) は晴れた日によく発生し、綿雲 (わたぐも) とも呼ばれている。その名の通り綿菓子のような形をしており、上部はモコモコしていて雲底は平たい。」(キウムルスは英語読み)

これで画像があれば、誰でも「あー」ということになる、見慣れた雲である。このクムルスの名をもつ国際的な美術・デザイン・メディア大学連合体がある。全体としてはデザイン大学を中心とした連合体である。京都精華大学が日本で初めてのメンバー校ということもあり、来年三月、年次大会を「京都国際デザイン会議クムルス2008」として本学で開催する。詳細は、次ページの特集や精華のホームページ

でみてもらえばと思うが、ともかく、アジアでの初のクムルス大会なので、準備する関係者は力が入っている。

ほくは役柄、その組織委員長になっている関係で、何度かヨーロッパで開かれた会議に参加してきた。国際という名がつくと、日本では何となく構えてしまうところがあるが、実際は、堅苦しいものは少なく(国家的な国際会議の雰囲気は知らないが)、何と言ったらよいか、同じ目的をもつ世界の仲間が集う楽しい会議というものが多い。クムルスも例外ではない。という以上に、クムルスの会議はかなりアットホームな雰囲気をもっている。

その会議に参加していつも感じるのは、クムルスが「積み重ね」という原語の意味をしっかりと体現しているということだ。つまり、デザインや美術という創造に関わる世界の人たちが、大学や研究所という制度を超えて集い、そこで生まれる共同体性を媒介に、世界をよりよきものにしたと努力しているからだ。デザインに関わる個人が積



み重ねることを強く意識しているのだ。そのグループに精華が入っていることをいつも幸せに感じている。

「上部はモコモコしていて雲底は平たい。」クムルスという言葉は、人間の共同体のありかたのひとつの理想のイメージ的メタファーとも思う。モコモコというのは人間や文化の多様性のことであり、平らな底は人間性という共通のベースを意味するとみえる。クムルスというデザイン連合体の理念もそうなのだと思う。

この理念は、大学という組織体においても同じだろう。つまり、何よりも個々の人なのだ。ひとつのヴィジョンのもとに人が積み重なっていくこと、そして、その積み重なったモコモコが有機的に運動すること。それがうまくいくときには、太陽の光を柔らかく受けながら、晴れた空を軽やかに上昇する「綿雲」のように、人の心を明るくするだろう。京都精華大学もクムルスのような雲になれたらと願っている。

国際デザイン会議 クムルス2008 を開催

〜京都から世界へ、未来社会での新たなデザイン価値を提言〜

創立40周年記念事業の第一弾として、2008年3月28日から4日間、京都国際デザイン会議クムルス2008を開催する。京都精華大学が世界の芸術系大学をリードし、21世紀の新たなデザインの可能性、役割を探る取り組みを進める。

創立40周年記念イベント、第一弾

デザインの 新しい可能性を模索

「クムルス」とは、欧米を中心とする世界40ヶ国、120校以上の芸術系大学が加盟する大学コンソーシアムの呼称。1990年にデザイン教育の向上を目的に設立され、これまでヨーロッパを中心に毎年2回の国際デザイン会議を開催してきた。

欧州以外での開催が初めてとなる今回の京都会議は、本学が事務局校を務める。

開催地・京都の特色や魅力を十分に取り入れ、総合テーマを「空 [CU:]」とした。この「空」という仏教の概念をベースとした新たな視点から、日本の文化や美学とデザインとの関連性を紹介するとともに、世界最先端のデザインやデザイン教育に関する発表や議論を行う。

国際デザインフォーラムでは、クムルス会長による「京都デザイン宣言」も発表される予定。1997年の京都議定書から11年目を迎える京都から、未来社会へ貢献するデザインの新たな可能性、新たな価値を提言する。

国際交流課の北脇課長は、「現代の社会において、ビジネスなどあらゆる分野でクリエイティブな力がますます重要視されています。京都会議では、デザインを通じてどのように社会をより良くしていくか、個人の幸せな生活に貢献できるかを考えていきたいと思っています。社会に貢献できるクリエイティブな人材を育てるのが、大学の役目ですから」と話している。

デザイン界の著名人の 講演、併設イベントも 多数開催

初日の3月28日に国立京都国際会館で行われる国際デザインフォーラムは、一般にも無料公開される。「空」をキーワードに、歴史や伝統の再発見、自然環境との共生、またそこから広がる安全や安心といった人間の幸福などにデザインはこういった役割を果たせるか、新しいデザイン価値を追求する内容。招待講演者

には、千宗守氏（武者小路千家十四代家元）、平野拓夫氏（金沢美術工芸大学前学長）、原研哉氏（グラフィックデザイナー）、武蔵野美術大学教授）、川崎和男氏（大阪大学大学院教授・デザインディレクター）を迎える。

3月29日には国際デザイン学術セッション、30日には国際芸術系大学交流フォーラムなどが開催されるほか、京都市内4ヶ所で各種イベントが併設される。本学では、「京都精華大学卒業作品選抜 空 [CU:]展」、京都国際マンガミュージア

ムでは「マンガコスプレイベント」、京都文化博物館では「京都の伝統工芸展」などの開催が決定。市内の各地で、クムルスの様々な企画に触れられる。

創立40周年記念事業の 幕開け

会議開催に先立って実施された「国際学生コンペティション」には、「しあわせのデザイン」をテーマに国内外から31

5作品の応募があった。クムルスが世界の芸術系大学間で強いネットワークをもつ証拠だ。本学デザイン学部の客員教授である浅葉克己先生をはじめ、外部からもテキスタイルデザイナーの須藤玲子氏など著名人を審査員として迎え、来年1月末に最終審査が行われる。入賞43作品は、COCON烏丸にて3月27日より約2週間展示される予定だ。

また、2日目の国際デザインセッションで発表する論文には約180本の応募が集まるなど、過去のクムルス国際会議の中で

も最大級の盛り上がりを見せている。京都精華大学は、毎年約30名の学生を海外の提携大学へ送り、また約30名を受け入れており、充実した交換留学を展開するなど国際交流が活発に行われている。今回の京都国際デザイン会議は、京都精華大学の理念のひとつである「国際主義」を体現し、日本の京都から世界に向けてデザインの新たな価値を提示していく格好の機会といえる。40周年記念事業の第一弾として、勢いあるスタートが切れそうだ。

3/28	国際デザインフォーラム @国立京都国際会館	3/23~3/30	「京都の伝統工芸展」 @京都文化博物館
3/29	国際デザイン学術セッション @京都精華大学 マンガコスプレイベント @京都国際マンガミュージアム	「空」展 @京都精華大学	
3/30	企業デザインセミナー 国際芸術系大学交流フォーラム @すべて 国際芸術系大学展示プラザ 京都精華大学	3/27~4/13	国際学生コンペティション作品展 @COCON烏丸
3/31	京都見学		

京都国際デザイン会議クムルス2008 開催内容

●3月28日(金) 12:30~18:10

国際デザインフォーラム

会場:国立京都国際会館

入場料:無料(一般公開/申込み制)

招待講演者:千宗守氏、平野拓夫氏、原研哉氏、川崎和男氏

内容:現代のグローバル化が進んだ社会において、改めて我々の歴史や伝統を再発見するとともに、自然と環境との共生、持続可能性や安全、またそこから広がる人間の幸福といったテーマを深く追求していくためのデザインフォーラム。

●3月29日(土) 10:00~12:30

国際デザイン学術セッション

会場:京都精華大学 入場料:有料(※)

内容:いま、デザインが抱える諸課題を3つの領域のセッションに分類。「歴史・伝統・工芸—デザインにおける近代性と地域性を再考する」、「デザインにおける自然・共生・持続可能性—デザインの理論と実践をめぐって」、「現代デザインと安全性—社会的、個人的幸福の問題に対するアプローチ」の3つのテーマから研究の成果を発表。

●3月30日(日) 10:00~12:30

企業デザインセミナー

会場:京都精華大学 入場料:有料(※)

内容:日本を代表する企業のデザイン戦略や取組みの実際、ブランディングについて紹介する。

●3月30日(日) 14:00~17:00

国際芸術系大学交流フォーラム

会場:京都精華大学 入場料:有料(※)

内容:国内外の大学によるデザインプロジェクトの実際的な取組みの発表や議論を行う。

●3月30日(日) 10:00~18:00

国際芸術系大学展示プラザ

会場:京都精華大学 入場料:有料(※)

内容:国内・海外の芸術系大学それぞれ十数校が自校の紹介をするブースを展示。

●3月27日(木)~4月13日(日)

10:00~20:00

国際学生コンペティション作品展

会場:COCON烏丸

入場料:無料(一般公開/申込み不要)

内容:「しあわせのデザイン」をテーマに制作・応募された約320作品のうち、厳選なる審査の結果、優れた作品を展示。

●3月23日(日)~30日(日)

京都の伝統工芸展

「手技に学ぶ—京都の伝統産業の現場から—」

会場:京都文化博物館6F 和室展示室

入場料:無料(一般公開/申込み不要)

内容:京都の伝統美術工芸の各作品、ならびにその制作工程や歴史・文化的背景などを展示。また、これからの地場産業、伝統工芸の継承・発展にむけた視点で展示する。

●3月23日(日)~30日(日)

10:00~19:00(入場は18:30まで)

「空」展

会場:京都精華大学

入場料:無料(一般公開/申込み不要)

内容:空のテーマに基づき制作された、京都精華大学4年生の卒業制作の選抜展。

●3月29日(土)

マンガコスプレイベント

会場:京都国際マンガミュージアム

入場料:無料(一般公開)

内容:お気に入りのキャラクターの衣装に扮したプレイヤー約300名が集結する。

※有料エントリー制。詳しくは、Cumulus事務局までお問い合わせください。

問い合わせ 京都精華大学 Cumulus 事務局

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

TEL 075-702-5288 URL <http://www.kyoto-seika.ac.jp/cumulus/>

NEWS

鄭仁敬さん「黒田清・J・C・J新人賞」受賞

母国を敬愛する心と、するどい批評力に高い評価

京都精華大学マンガ専攻の卒業生であり、現在マンガ学部カートゥーンコース非常勤講師をつとめる鄭仁敬(チョン・インギョン)さんが、『コバウおじさんを知っていますか』新刊マンガにみる韓国現代史(草の根出版会)で、日本ジャーナリスト会議「黒田清・J・C・J新人賞」を受賞した。

受賞作は、韓国の新聞で40年以上にわたり支持を得てきた4コマ風刺マンガ「コバウおじさん」と、その作者である金星煥(キム・ソンファン)氏にスポットをあて、軍事政権下にあった60年代、70年代の韓国近代史を研究したもの。

日本ジャーナリスト会議は、その年のすぐれたジャーナリズム活動・作品を選定し贈賞を続け、2007年で50回目を迎えた。2002年から「黒田清・J・C・J新人賞」を設け、受賞者には賞状と記念品のほか、故黒田清氏の遺族出資による賞金が贈呈される。贈賞式は8月11日、日本プレスセンター・ホール(東京・内幸)で行われた。



NEWS

『異文化手習い帳』発売

産官学連携事業としてマンガ冊子を出版

京都国際マンガミュージアム事業推進室が、文化庁とともに日本語学習教材を開発した。教材といっても従来の文章中心の内容ではなく、全編がマンガで構成されている。その特徴を生かし、楽しみながらより効果的に日本文化に親しんでもらおうというもの。今年8月発売の『漫画 異文化手習い帳』は、文化庁の監修で制作されたストーリー仕立てのマンガで、日本人の言葉の使い方やジェスチャーなどについて解説をしている。現在日本で暮らす外国人に向けて、生活習慣や文化などのニュアンスを伝えようと、マンガの視覚的な分かりやすさに着目したという。事業



推進室では、マンガ学部を擁する本学の特色を活かした産官学連携事業として、2003年よりマンガ冊子の出版を本格化。企業や自治体、民間団体などからの委託を受け、プロのマンガ家として活躍する教員や卒業生、大学院生が、ストーリーやキャラクターの開発にあたっている。

NEWS

小松正史先生、環境音楽を提供

オリジナル環境音楽、延べ60曲を制作

環境デザインを研究している人文学部社会メディア学科の小松正史先生が、京都タワーと京都国際マンガミュージアムの館内で流すオリジナルの環境音楽を作曲し、現在両施設で楽曲が使用されている。環境デザインは、空間や風景を楽しく感じさせたり、美しさを引き立てるために、それに合った音楽などを作る。間接照明や壁紙のような存在で、空間に溶け込ませるために小さな音量で流すのも特徴。景色を楽しんだり、マンガを読むのに心地よい音楽となるように、周波数測定やアンケート調査も実施し、利用者からも好評を得ている。延べ60曲を作曲、その中から選ばれた10曲は、CDアルバムとして2007年10月に発売されている。



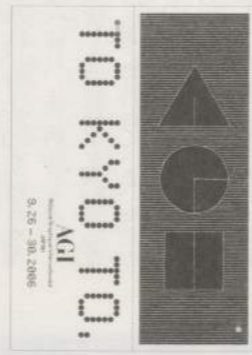
NEWS

「京都新聞広告賞2006」受賞

有名企業を抑え京都精華大学が最優秀賞に

昨年の9月、東京会場と本学で開催された国際グラフィック連盟(AGI)総会を告知した広告が、「京都新聞広告賞2006」最優秀賞を受賞。9月12日にリーガロイヤルホテル京都にて贈賞式が開かれた。今回は、2006年6月から2007年5月にかけて、京都新聞紙上に掲載された広告から328点の応募があり、8点が入賞。贈賞式では、審査委員長である芳賀徹氏(京都造形芸術大学名誉学長)が、「知的でレトロな印象を受けた作品が多く、京都らしさを感じた」と講評した。広告制作を担当したのは、デザイン学部客

員教授である浅葉克己先生。図形を組み合わせた斬新なデザインや印象的なキャッチコピーが高く評価され、優秀賞の賞状や特別賞のNTTドコモ関西などを押さえての受賞となった。



NEWS

アセンブリーアワー講演会

石川雅之氏×幸村誠氏、蓮田太二氏など話題のゲストが登場

各界の第一線で活躍する方を講師に迎え、文化、芸術、社会など幅広いジャンルのテーマで開催し、好評を博している「アセンブリーアワー講演会」。前期に引き続き、後期も豪華な顔ぶれが揃った。

マンガ家同士の対談となった石川雅之氏と幸村誠氏の講演は、学生からの質問に双方で返答していく形式で進み、両氏の人柄もあつてか始終和やかな空気の講演となった。また、国内初となる赤ちゃんポスト「このどりのゆりかご」の設置で注目を集めた蓮田太二氏(熊本県慈恵病院理事長)は、赤ちゃんポストを設けた経緯について話を進め、「ゆりかごに入れる前にまず、相談してほしい」という自身の心情を強く訴えかけた。その他、トラックの幌や廃車のシートベルトなどからなるメッセージバック「FR

ETAG(フライターグ)を、アート作品と位置づけることにも成功したフライターグ兄弟。この夏上映された『天然コケッコー』のヒットも記憶に新しい、今ももっとも動向が注目されている映画監督、山下敦弘氏。エッセイ、評論、小説など執筆も多く、大学で教鞭をとるなど、活動は多岐にわたる劇作家、宮沢章夫氏などが講演を行い、在学生を中心にとした多くの参加者が熱心に耳を傾けていた。



蓮田太二氏

NEWS

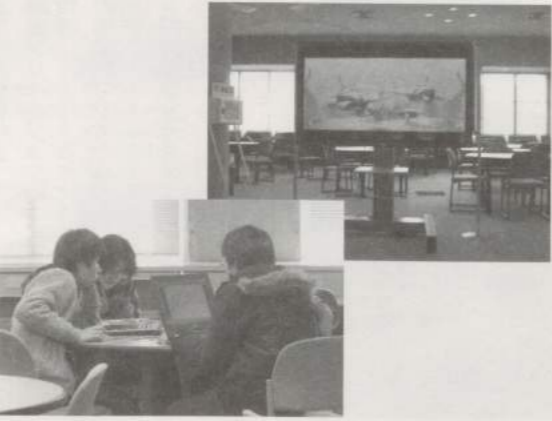
情報館リニューアル続報

大型ディスプレイ、音響設備の導入

京都精華大学情報館では、「自習環境の改善」「情報発信機能の拡充」をテーマに、今春から3年間を目標として、館内のレイアウトや設備の刷新をはかっている。その第2期リニューアル工事が、夏季休暇中の8月27日から31日に実施された。

概要としては、第1にシンボルヴィジョンの設置。65インチプラズマディスプレイを情報館2階入館ゲート前および、旧コミックコーナー壁面に設置した。学生や教員に映像作品を発表する場を提供するとともに、オープンキャンパス等のイベントでも積極的に活用していく予定である。

第2に、情報館2階フロアに館内音響設備を導入し、コミュニケーションスペースのBGM環境を整備。日替わりDJやトークイバ



ントを企画し、視聴覚を媒介としたコミュニケーションの創出をはかっていく考えだ。

NEWS

京都国際マンガミュージアム来場者20万人突破

展示やワークショップ、シンポジウムなどにも力を



京都精華大学と京都市が共同で運営する、京都国際マンガミュージアムの来場者数が、9月末で20万人を突破した。近隣の利用者はもちろん、ガイドブックを見た外国人観光客や、団体客も増えていることが調査で分かっている。同ミュージアムは、展示やワークショップなどにも力を入れており、親子で訪れる来場者も多い。

また、9月29日から京阪神地区で行われていた、コンテンツ産業のフェスティバル「クリエイティブ・インダストリー・ショーケース関西」の一貫として、マンガ産業の活性化を促す「京都マンガシンポジウム」が30日に同ミュージアムで行われ、漫画家や出版社の担当者ら専門家が、マンガ産業の海外への本格展開などを語り合った。討論会では、元

講談社編集者の評論家・山田五郎氏が「マンガは日本が戦後に作り出した唯一の文化。家電や自動車と同じように海外展開できるはず」と指摘。マンガ家の里中満智子氏は、日中韓などアジア各国で続けている「アジアMANGAサミット」の成果を紹介し、草の根交流の大切さを訴えた。

2007年度新任教職員

2007年4月から本学に新任した教職員の方々です。

人文学部

日高敏隆(客員教授)

芸術学部

【造形学科】

西雅秋(立体造形)

北川フラム(造形学科 客員教授)

【メディア造形学科】

西光一(映像)

北野裕之(版画)

松本俊夫

(メディア造形学科 客員教授)

デザイン学部

【プロダクトデザイン学科】

野口和裕(PCD)

黒河兼吉(PCD)

米本昌史(IPD)

北條崇(IPD)

【ビジュアルデザイン学科】

大高郁子(イラストレーション)

豊永政史(グラフィック)

島海修(グラフィック)

竹内一馬(デジタルクリエイション)

【建築学科】

服部滋樹(建築)

マンガ学部

【マンガ学科】

ペラ・ウィルジリ(カートゥーン)

萩原征弥(ストーリーマンガ)

村上もとか(マンガ学科 客員教授)

【アニメーション学科】

石堂吉彌(アニメーション)

【マンガプロデュース学科】

大西祥平(マンガプロデュース)

教育推進センター

市地敬典(日本語リテラシー部門)

藤田里実(導入教育部門)

事務局

飯澤ちあき(文化情報課)

片田克(入試課)

小坂俊夫(京都国際マンガミュージアム)

島崎一平(教務課)

田中俊樹(学生課)

出口尚宏(広報課)

西口直樹(図書情報課)

舟津潤(経理課)

森貴美(広報課)

2006年度退職教職員

以下の教職員の方々が2006年度で退職されました。

大澤真一郎(人文学部)

西研(人文学部)

小林陸一郎(芸術学部)

黒崎彰(芸術学部)

上原英司(芸術学部)

應矢泰紀(芸術学部)

林ケイタ(芸術学部)

小森ゆま(デザイン学部)

坂本憲子(デザイン学部)

辻村久信(デザイン学部)

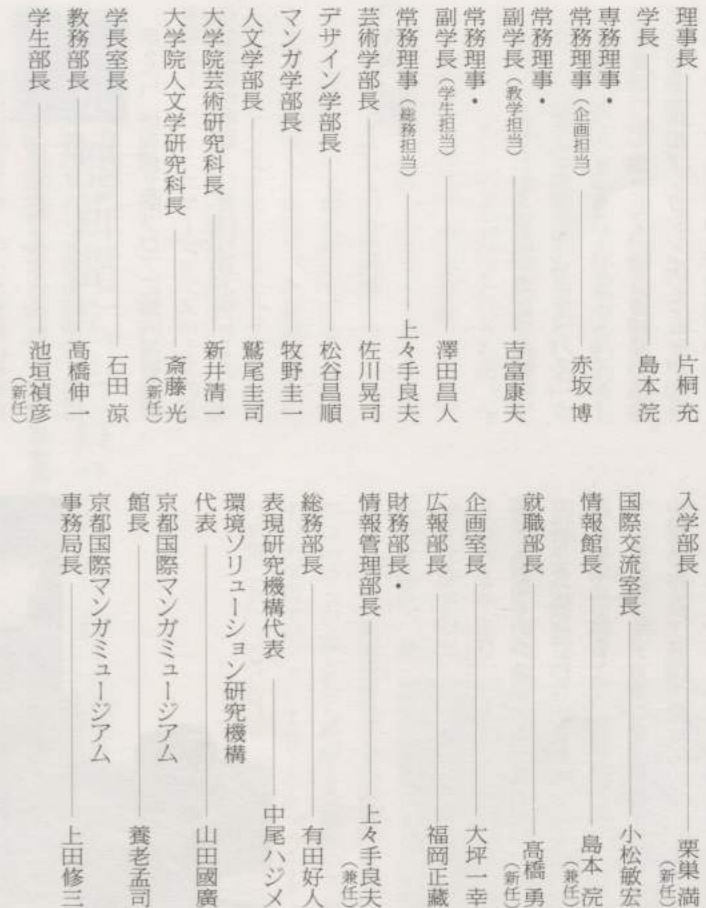
マーティン・ハネセット(マンガ学部)

石田あゆ(教育推進センター)

牧弥太郎(就職課)

2007年度大学人事体制

2007年度の大学役職者は以下のとおりです。



2006年度決算及び2007年度予算について

二〇〇六年度決算について
二〇〇六年度の帰属収入は約七億円でした。このうち学生納付金は七五%を占めています。

この中から実習棟「対峰館」の第二期工事、「京都国際マンガミュージアム」の改修工事、その他学内施設の諸改修工事等で約三億四千万円の施設関係支出を行いました。そして対峰館の建築資金に対して、私学事業団より約五億八千万円の融資を受けました。また対峰館の附帯備品やマンガミュージアムの展示設備等の購入、情報報のリノベーション、デザイン学部のパソコン購入、その他経常的な図書・備品充実等で約五億二千万円の設備関係支出を行いました。これらを含め、大学の基本財産取得等に関わる基本金組入額は約一九億四千万円となりました。

消費支出(人件費・経費等)は約六三億円となり、その結果、二〇〇六年度の消費収支は約一億四千万円の支出超過となりました。この結果、累積消費支出超過額はおよそ二億九千万円となりました。

資産が増加した一方、借入金、累積支出超過額も増え、自己資本比率は〇・八パーセント減少して、七九・八パーセントとなりました。

二〇〇七年度予算について

二〇〇七年度は、新たに設置したデザイン学部、マンガ学部の機器備品の購入、五号館の窓枠補強工事等を行います。また京都国際マンガミュージアム、Cumulus京都デザイン会議等の事業拡大も計ります。単年度の消費収支は基本財産取得に関わる基本金組入等を含み三億五千万円程度の支出超過予算となっています。

収入については、文部科学省の補助金獲得をはじめとして、受託事業等によって外部資金を積極的に導入し、増収と教育研究活動の活性化をはかります。

二〇〇八年度以降も本館等の老朽化建物の建替えなどにより支出超過が続きますが、単年度収支をできるだけ早期に黒字回復し、教育活動の充実とともに財政の安定化をはかっていきます。

2006(平成18)年度

2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年3月31日まで

資金収支計算書 (単位:千円)		消費収支計算書 (単位:千円)	
収入の部	金額	消費収入の部	金額
学生納付金収入	5,302,701	学生納付金	5,302,701
手数料収入	95,382	手数料	95,382
寄付金収入	33,400	寄付金	50,702
補助金収入	1,255,958	補助金	1,255,958
資産運用収入	43,932	資産運用収入	43,932
資産売却収入	115,094	資産売却差額	136
事業収入	173,697	事業収入	173,697
雑収入	143,208	雑収入	143,208
借入金収入	576,000	借入金収入	576,000
前受金収入	1,632,865	前受金収入	1,632,865
その他の収入	332,251	その他の収入	332,251
資金収入調整勘定	△2,228,890	資金収入調整勘定	△2,228,890
前年度繰越支払資金	5,687,943	前年度繰越支払資金	5,687,943
収入の部合計	13,163,541	収入の部合計	13,163,541
支出の部	金額	消費支出の部	金額
人件費支出	3,058,483	人件費	3,072,055
教育研究経費支出	1,707,209	教育研究経費	2,281,092
管理経費支出	664,508	管理経費	736,348
借入金等利息支出	79,252	借入金等利息	79,252
借入金等返済支出	262,930	資産処分差額	80,254
施設関係支出	2,336,505	徴収不能額	22,123
設備関係支出	516,141	消費支出の部合計	6,271,124
資産運用支出	802,038	当年度消費収入超過額	1,143,820
その他の支出	344,229	前年度繰越消費支出超過額	1,776,337
資金支出調整勘定	△133,288	翌年度繰越消費支出超過額	2,920,157
次年度繰越支払資金	3,525,533		
支出の部合計	13,163,541		

2007(平成19)年度

2007(平成19)年4月1日から2008(平成20)年3月31日まで

資金収支予算書 (単位:千円)		消費収支予算書 (単位:千円)	
収入の部	金額	消費収入の部	金額
学生納付金収入	5,570,639	学生納付金	5,570,639
手数料収入	93,300	手数料	93,300
寄付金収入	50,000	寄付金	55,000
補助金収入	746,750	補助金	746,750
資産運用収入	57,000	資産運用収入	57,000
資産売却収入	300,000	資産売却差額	732
事業収入	246,957	事業収入	246,957
雑収入	110,947	雑収入	110,947
前受金収入	1,531,980	前受金収入	1,531,980
その他の収入	769,894	その他の収入	769,894
資金収入調整勘定	△2,033,408	資金収入調整勘定	△2,033,408
前年度繰越支払資金	3,525,533	前年度繰越支払資金	3,525,533
収入の部合計	10,969,592	収入の部合計	10,969,592
支出の部	金額	消費支出の部	金額
人件費支出	3,312,605	人件費	3,348,605
教育研究経費支出	1,641,319	教育研究経費	2,321,319
管理経費支出	731,204	管理経費	801,204
借入金等利息支出	82,300	借入金等利息	82,300
借入金等返済支出	241,320	資産処分差額	37,000
施設関係支出	24,379	徴収不能額	30,000
設備関係支出	177,236	予備費	100,000
資産運用支出	1,000,000	消費支出の部合計	6,720,428
その他の支出	211,277	当年度消費支出超過額	353,103
予備費	100,000	前年度繰越消費支出超過額	2,920,157
資金支出調整勘定	△104,625	翌年度繰越消費支出超過額	3,273,260
次年度繰越支払資金	3,552,578		
支出の部合計	10,969,592		

貸借対照表

2007(平成19)年3月31日現在

資産の部				負債の部			
科	目	本年度末	前年度末	増減	科	目	増減
固定資産		22,741,707	19,649,256	3,092,451	固定負債		348,252
有形固定資産		19,222,263	17,078,094	2,144,169	長期借入金		334,680
土地		4,068,855	4,068,356	499	退職給与引当金		13,572
建物		12,164,224	10,420,100	1,744,124	流動負債		125,287
構築物		656,734	608,158	48,576	短期借入金		△21,610
教育研究用機器備品		1,291,307	945,916	345,391	未払金		55,539
その他の機器備品		49,056	55,560	△6,504	前受金		84,941
図書		986,925	973,125	13,800	預り金		6,417
車輛		5,162	6,879	△1,717	負債の部合計		473,538
その他の固定資産		3,519,444	2,571,162	948,282	基本金の部		
電話加入権		3,566	3,566	0	科 <td>目 <td>増減</td> </td>	目 <td>増減</td>	増減
有価証券		2,378,058	1,576,445	801,613	第1号基本金		1,900,412
長期貸付金		527,703	381,034	146,669	第2号基本金		0
退職給与引当特定資産		448,950	448,950	0	第3号基本金		0
第3号基本金引当資産		150,000	150,000	0	第4号基本金		38,000
保証金		11,166	11,166	0	基本金の部合計		1,938,412
流動資産		4,468,139	6,292,460	△1,824,321	消費収支差額の部		
現金預金		3,525,533	5,687,943	△2,162,410	科 <td>目 <td>増減</td> </td>	目 <td>増減</td>	増減
未収入金		681,255	261,407	419,848	翌年度繰越消費支出超過額		1,143,820
貯蔵品		5,812	6,274	△461	消費収支差額の部合計		△1,143,820
短期貸付金		14,719	12,122	2,597	科 <td>目 <td>増減</td> </td>	目 <td>増減</td>	増減
有価証券		201,055	315,326	△114,271	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計		1,268,130
立替金		5,140	4,724	416			
前払金		34,625	4,665	29,960			
資産の部合計		27,209,846	25,941,716	1,268,130			



2007年度芸術学部卒業・修了制作展

芸術学部と芸術研究科による卒業・修了制作展を、京都市左京区の岡崎公園内にある、京都市美術館にて開催いたします。学生たちが、学びの集大成である卒業制作を発表します。ぜひお立ち寄りください。

第38回 京都精華大学 卒業・修了制作展07

1月30日(水)～2月3日(日)

京都市美術館本館

バス「京都美術館美術館前」下車すぐ。または地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩10分。



2007年度卒業式、2008年度入学式

2007年度卒業式、2008年度入学式を左記の日程で予定しています。

2007年度学位記授与式

日時 2008年3月20日

(木・春分の日)

9時30分開場／10時開式

場所 本学体育館

※地下鉄「国際会館駅」よりスクールバスを運行します。お車でのご来場はご遠慮ください。

2008年度入学式

日時 2008年4月1日(火)

9時開場／10時30分開式

場所 国立京都国際会館イベントホール

※地下鉄「国際会館」駅から徒歩5分。お車でのご来場はご遠慮ください。



『KINO』好評発刊中

京都精華大学が編集・発行するワンテーママガジン『KINO』の第6号が好評発売中です。第6号の特集は「音楽と街ヘグルーヴィーにトリップ」。表紙巻頭のくるりは、アルバム『ワルツを踊れ』[Anz Walker]のパリでのレコーディング、台北での野外フェス、アルバム発売に伴うツアーで訪れた高崎、そして自ら主催した野外フェス「京都音楽博覧会」の様態など、3万字を超えるインタビューでお届けします。また、コーネリアスのワールドツアー追っかけ取材、京都在住アーティストであるレイ・ハラカミへのインタビューなど、ここでしか読めない完全独占記事ばかり。その他、京都精華大学で行われた「音とスケッチ」によ

るコミュニケーションの実験的授業のレポートや、京都のライブハウス総力特集など、今回も読み応えたっぷりの内容となっています。

『KINO』は全国有名書店で発売中です。購読に関する問い合わせは河出書房新社まで。また、次号特集は「21世紀のマンガ」。2008年2月下旬発売予定です。



施設整備および教育研究事業充実に関する募金についてのお願い

施設の充実、教育・研究の発展にかかる経費のご寄付ご協力をお願いいたします。寄付金は一口五万円からとなっています。詳細につきましては「募金要項」をお取り寄せください。この寄付金につきましては、文部科学省から「特定公益増進法人であることの証明書」の交付を受けていますので、所得から税金控除を受けることができます。詳細のお問合せや募金要項のお取り寄せは、京都精華大学企画室（075-702-5201）までお願いいたします。